

拝啓 今年も早や4月下旬、ゴールデンウィークの目前となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。東北の地震、福島原子力発電所の災害復旧が、はかばかしく進んでいないようで気の毒に思います。災害復旧は、官僚機構が最も効果的に組織力を発揮できる場合だと思いますが、政治主導ということで官僚機構の活用が十分図られていないようで、残念に思います。

いつもエンカウンターお読みいただきありがとうございます。相沢良一先生の『黒潮の神学』は、今回で終りになります。『黒潮の神学』下巻の最後に付録として、相沢先生が1982年(今から30年前)千葉県八千代台教会でされた特別説教「慰めの根拠」が掲載されています。本文は、22ページもある長い説教ですが、5頁ほどに短くしながら引用いたしました。素晴らしい内容の説教であると共に、八千代台教会は、志津の近くでエンカウンターの読者の中にも行かれた方もあるのではないかと思います。相沢先生もお子さんを二人もなくされ、悲しみにある方を慰めることができる方でした。又、伊豆大島の噴火で東京に避難されたこともあり、今回の東北の地震の被害者の方々に最も同情される方だと思います。この1年は『黒潮の神学』をよく勉強させていただきました。いつも相沢先生の奥様の悦子様から、感想のお手紙を頂いて光栄でした。

次号からは、小西芳之助先生が学生時代、バイブルクラスで教わり、牧師になってからも助けていただいた宣教師のミス・モーク先生の『ミス・ローラ・モーク その信仰と生涯』などから、引用することにします。

先日、大学時代の山の会の友人たちと箱根に行き、芦ノ湖スカイライン・ハイキングコースを歩いてきました。湖尻峠から下って深良水門というところに出ました。帰りのバスの中で、内村鑑三先生の『後世への最大遺物』を眺めて居りましたら、いろいろな事業の例が出てきますが、その第1に江戸時代に深良水門を掘った兄弟の話がでていて驚きました。『後世への最大遺物』は、明治27年、箱根で行われた講演ということは知っていましたが、場所は芦ノ湖畔箱根本陣であったようです。司会は海老名弾正でした。

南原先生の伝記を書いていまして、大体終りまで来ました。連休中に仕上げたいと思っています。どうぞご加祷ください。最後を、南原先生が良く引用されたお好きな言葉の紹介で終わろうと思うのですが、例えば「簡素な生活、高い思想」(Plain Living , High Thinking)は、ワーズワースの“ ロンドン、1802年 ” という詩の中に出てくる言葉でした。もう一つ、「真理の鞭は蹴ることが難しい」という言葉がありますが、9 出典をさがしています。どなたか御存知でしたら、教えて下さい。どうぞ皆様もお身体ご自愛のほど祈り申し上げます。

平成 23 年 4 月 27 日

山口周三

エンカウンターの読者各位